

別紙

I. 事業評価総括表(令和3年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	八幡平市スクールバス整備事業	八幡平市	10,307,000	4,427,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表(令和3年度)

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	八幡平市スクールバス整備事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		八幡平市				
交付金事業実施場所		八幡平市野駄				
交付金事業の概要		八幡平市松尾地区では、合併前から3つの小学校と1つの中学校の児童・生徒に対し、遠方からの安全な通学を確保するためにスクールバスを運行していますが、平成7年の購入から24年経過した1台について、令和2年12月に経年劣化による故障で走行不能となり廃車となりました。このためスクールバスの運行に支障が生じ、急遽バスをレンタルし対応している状況です。このことから、スクールバスについて本交付金の活用により整備し、確実なスクールバス運行を図ることで、安心安全な学習環境が期待できます。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		八幡平市総合計画 目標 心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり 基本施策(5) 地域に根ざした教育の充実 施策の方向性：スクールバスの運行や通学時の安全確保など、安心して学習出来る環境づくりに努めます。				
事業開始年度		令和3年度	事業終了(予定)年度		令和3年度	
事業期間の設定理由		-				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和3年度	
	遠距離通学児童生徒の負担軽減	負担が軽減された児童生徒の割合	成果実績	%	100	
			目標値	%	100	
			達成度	%	100	
	評価年度の設定理由					
	事業終了後速やかに評価を実施するため					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	スクールバスの更新により、スクールバスの運行が通常どおりを行うことが出来たため、安心安全な学習環境づくりの一環となりました。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度
	スクールバス購入	活動実績	台	1
		活動見込	台	1
		達成度	%	100
交付金事業の総事業費等	令和3年度			備考
総事業費	10,307,000			令和3年度
交付金充当額	4,427,000			総事業費計
うち文部科学省分	0			10,307,000 円
うち経済産業省分	4,427,000			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	物品購入	一般競争入札	株式会社小山田商店	10,307,000
交付金事業の担当課室	八幡平市企画財政課			
交付金事業の評価課室	八幡平市教育総務課			